

長浜市図書館基本計画実施プラン
令和4年度評価書

令和5年9月

長浜市立図書館

評価基準

- A 計画以上の取組みをおこない、目標を超える成果があった(100%超え)
- B おおむね計画に沿って実施し、課題はあるが、目標を達成できた(80%以上~100%)
- C 実施したが、課題が多い(50%以上~80%未満)
- D ほとんど実施できなかった(50%未満)

令和4年度の図書館評価を終えて

令和4年度図書館評価は、令和3年12月に策定された「長浜市図書館基本計画（第2期）」により設定された各評価項目をもとに実施した2年目となる。令和4年度の図書館を取り巻く状況を見ると、年度後半にようやくコロナ禍が収束を迎えつつあったが、年度当初からの各種図書館サービスは、コロナ禍の影響が強く残るなか、全体としてサービス拡大を自粛せざるを得ない1年であったと思われる。

令和4年度図書館評価を実施するにあたっては、令和3年度と同様、協議会に評価のための小委員会を設置して、協議会委員だけの外部評価だけでなく、各評価項目について、担当する図書館職員から詳細な業務への取組みについてヒアリングを実施して、その結果を踏まえて外部評価を実施するかたちをとった。

各評価項目について、職員の自己評価と協議会の外部評価に意見の相違のある点については、職員と協議会委員、双方が率直な意見交換をおこない議論を深められた。

外部評価の結果全体を概観すると、年度当初はまだまだコロナ禍の先行きが見通せないなか、設定した指標項目をいかに低下させず現状を維持、継続するかに腐心して各種事業に取り組んだ様子がうかがえた。単なる数値評価には表れない職員の業務への取組み姿勢、利用者・市民へのきめ細かな対応姿勢等が協議会委員に高く評価されたこともあり、数値評価プラスαの高い評価を与えている項目があることは市民のみなさんに伝えておきたい点である。

ただ残念な点は、「目標1：市民に役立つ図書館」のなかでも最も重要な指標項目である「個人貸出冊数」が令和3年度の実績と比較で、わずかとはいえ下回ったことである。長浜図書館の新館開館後3年を経過するなかで、令和4年度もこの指標項目をクリアできなかった点は大きな課題であると考えている。

第2期基本計画の目指す「本と人、人と人がつながる 学びと交流の拠点」を実現するために何をしなければならないのか、資料費が十分なのか、職員体制がこのままでよいのか等を含め、図書館運営の基本的なあり方そのものを、図書館、協議会双方で考えていく必要があるのではないだろうか。

令和5年度はようやくコロナ禍の影響が緩和され、「図書館基本計画（第2期）」で策定した様々な事業を積極的に取り組める年度となる。この評価が職員全体、市の関係部門によって共有され、広く市民にも理解と支持を得て、本市図書館事業の一層の進展に有効に活かされることを切望する。

長浜市図書館協議会

会長 國松 完二

図書館基本計画実施プラン 評価シート

【目標1】市民の役に立つ図書館

		令和4年度目標値	令和4年度実績
指標項目	1	個人貸出冊数	1,000,000 冊
今年度重点的に取組む目標	市民の生活に役立つ資料や関心が高い資料を購入します。また、市民の本への関心が高まるよう様々なテーマで本の特集展示をおこないます。		
重点的に取り組んだ項目	①長浜図書館では、資料を幅広く収集し、蔵書を充実させます。		令和4年度達成状況
成果	利用や問い合わせの多い分野を選書会議で確認することで、必要な資料の購入に活かしました。また、特集展示で様々な資料を紹介しました。		B
課題	貸出傾向から市民の役に立つ資料を収集し、各館を適切な蔵書構成、魅力的な棚にしていく必要があります。また、図書館未利用者も見据えて、幅広い資料を収集・提供していく必要があります。		
委員意見	コロナ禍であったとはいえ、図書館として貸出冊数は大きな指標である。目標の実現に向けて課題をしっかりとらえ、より利用を伸ばす策を講じるべきである。来年度はこれまでの利用の停滞を巻き返す飛躍の年としてほしい。		外部評価
			B

		令和4年度目標値	令和4年度実績
指標項目	2	予約・リクエスト年間受付件数	157,000 件
今年度重点的に取組む目標	予約の多い資料、提供の遅れている資料の定期チェックを確実に機能させ、時期を外れない迅速な資料提供に努めます。		
重点的に取り組んだ項目	①長浜図書館では、資料を幅広く収集し、蔵書を充実させます。		令和4年度達成状況
成果	提供の遅れている資料を複本購入し、利用者の待ち時間を短縮しました。		A
課題	さらに迅速な資料提供ができるよう、提供遅れのチェック期間を短縮させる必要があります。		
委員意見	予約の多い資料を迅速に提供できるよう、選書会議で適切に複本購入の判断ができたことが「予約・リクエスト年間受付件数」の増加につながっている。今後も「選書会議」のあり方を工夫して、資料の利用状況が的確に幅広い収集に活かされることを期待する。		外部評価
			A

		令和4年度目標値	令和4年度実績
指標項目	3	自主講座や展示の年間開催数	12 回
今年度重点的に取り組む目標	図書館利用の幅が広がるような企画展示や講座を実施します		
重点的に取り組んだ項目	④生活の課題を解決するヒントとなり、学習や活動のきっかけとなるような講座や展示をおこないます。		令和4年度達成状況
成果	ボランティア専門講座を開催しました。(音訳講座6回、修理講座1回、装備講座1回) 継続して活動する市民が増加しました。 企画展示を4回実施しました。(7月「大人の自由研究」・10月「井上靖と湖北の観音さま」・12月「しょうがいってなあに」・2月「いのち輝く未来に向かって」) 様々な切り口で資料を紹介し貸出を促進することができました。		B
課題	各講座とも初心者を対象に実施したので、さらに技術力をアップしていくために段階的に技術が習得できる講座が必要です。企画展示は準備等に時間がかかりますが、継続的に続けていくことで図書館からの発信力が養われます。		
委員意見	図書館からの発信は継続することが大事であり、自主講座、展示が年間を通して開催できた点は評価に値し、来年度以降も継続した取組が望まれる。企画・展示を継続することで司書の専門性の育成や資料の貸出増加につなげてほしい。さらに、自主講座の参加者や企画展示の利用者の、その後の図書館利用に変化があったのか、についても検証が必要である。		外部評価
			B

		令和4年度目標値	令和4年度実績
指標項目	4	レファレンス事例のHP公開数	10 件
今年度重点的に取り組む目標	一般編5件、児童編5件の事例を公表します		
重点的に取り組んだ項目	⑥レファレンス事例や回答例のデータ蓄積を進め、活用します。		令和4年度達成状況
成果	一般編7件、児童編8件を図書館ホームページに公開しました。レファレンスの年間処理件数は170件でした。職員全員を対象にした研修を2回(レファレンスインタビュー・実践)実施し、職員のスキルアップができました。		A
課題	レファレンス担当が初めての職員が多かったものの昨年とかわらないだけの件数(R3年度169件)を処理することができました。職員研修を継続して、レベルアップを図ることが重要です。		
委員意見	目標値を超える実績があったことは、レファレンス研修の内容をよく工夫して取り組んだ成果である。ただし、ホームページ公開数の目標値、実績値とも年間の処理件数と比較するとまだまだ少ないのが現状である。今後はもっと多様な回答事例を速やかにホームページに公開できるよう、効率的な公開業務に取り組むことが求められる。		外部評価
			A

図書館基本計画実施プラン 評価シート

【目標2】だれもが利用できる図書館

		令和4年度目標値	令和4年度実績
指標項目	1	実利用者率	15 %
今年度重点的に取組む目標	図書館以外の場所や機会をとらえて、市民に利用のよびかけを行うことで、図書館を利用する市民の増加をはかります		
重点的に取り組んだ項目	⑤高齢者・しょうがい者・子育て世代・外国人など図書館利用に困難がある人にもきめ細かく資料と情報を届けるため、それらに関わる市の担当課や関連団体と積極的に連携・協力し、図書館サービスの周知と向上を図ります。		令和4年度達成状況
成果	地域情報誌やケーブルTVなど、多くの市民の目に触れる媒体で図書館の紹介をする機会を得、ふだん図書館を利用しない人にもサービスの周知や館の紹介をすることができました。		B
課題	図書館の未利用者に対するPRを積極的におこない、宅配・郵送サービスなど様々な方法で図書館を利用できることを周知する必要があります。		
委員意見	様々な取組をされたことで目標値に近い実績をあげることができたが、まだまだ市民各層への図書館利用の広がりには結び付いていない。未利用者に積極的にアピールするなど、引き続き図書館の認知度を高める工夫をしてほしい。		外部評価
			B

		令和4年度目標値	令和4年度実績
指標項目	2	郵送・貸出点数	150 点
今年度重点的に取組む目標	庁内各課や関連機関に対し、図書館におけるしょうがい者サービスの認知向上を図ります		
重点的に取り組んだ項目	⑤高齢者・しょうがい者・子育て世代・外国人など図書館利用に困難がある人にもきめ細かく資料と情報を届けるため、それらに関わる市の担当課や関連団体と積極的に連携・協力し、図書館サービスの周知と向上を図ります。		令和4年度達成状況
成果	市のしょうがい福祉課と連携して企画展示をおこなった際や、県立図書館の司書巡回の時などに担当職員同士で情報交換をすることで、それぞれの事業内容や目的などの共有ができ、連携を深めることができました。		A
課題	しょうがいのある市民に直接働きかける方法だけでなく、行政・民間問わず図書館にできることを広く周知し続ける必要があります。		
委員意見	市の担当課や関係団体等との積極的な連携・協力事業の実施により市民の認知度が向上したことで、目標を大幅に超える利用があった。今後も図書館のあらゆるサービスを市民に知って使ってもらえるよう、さらに周知を続けることが大切である。		外部評価
			A

		令和4年度目標値	令和4年度実績
指標項目	3	関係課や機関と連携した年間事業数	4 件
今年度重点的に取り組む目標	関係課や機関とのコラボレーション企画した展示などを実施します。		
重点的に取り組んだ項目	⑤高齢者・しょうがい者・子育て世代・外国人など図書館利用に困難がある人にもきめ細かく資料と情報を届けるため、それらに関わる市の担当課や関連団体と積極的に連携・協力し、図書館サービスの周知と向上を図ります。		令和4年度達成状況
成果	市民活躍課とウィキペディアタウンに取り組み、ウィキペディアに5項目(北国街道・長浜仏壇・四居家・開知学校・長浜城下町)を公開しました。図書館資料を活用し市民と協働して新たな価値を創出できました。また、長浜まちづくりセンターや市民活躍課、長浜国際交流協会等とさざなみタウンをつかった多文化理解に関する行事や展示、しょうがい福祉課とコラボレーションした展示、健康推進課と食育に関する行事など、積極的な連携に努め、時々に応じて来館者に様々な図書館サービスの周知を図りました。		B
課題	継続して関係課と連携し、事業を進める必要があります。		
委員意見	関係課や機関とのコラボレーション企画の積極的な取組により目標値を達成することができた。今後も関係課、機関との連携をさらに強め、企画・展示内容を深めた取組の拡大が必要である。		外部評価
			B

図書館基本計画実施プラン 評価シート

【目標3】子どもが本と親しめる図書館

		令和4年度目標値	令和4年度実績	
指標項目	1	園への団体貸出数	600冊	794冊
今年度重点的に取り組む目標	園に図書館の活用例を紹介します			
重点的に取り組んだ項目	⑤読書環境や読み聞かせ環境の整備など、園への支援を強化します。		令和4年度達成状況	
成果	市内全園に園向けのサービスについてお知らせしました。団体貸出は、7園から794冊利用されました。ボランティアのおうちで読書推進事業などに、「えほんのひろば」が24回利用され、乳幼児が絵本に親しむ機会を増やすことができました。		A	
課題	公立私立企業型を問わず、より多くの園に図書館の園向けサービスを利用してもらうよう、機会を捉えて案内をする必要があります。			
委員意見	昨年度より利用園数、団体貸出数が増加し、目標を達成することができた。ただし、昨年度より増えたとはいえ20園のうち7園しか利用されていない状況であり、まだまだ利用園の拡大が必要な状況である。現場の先生たちが利用しやすい形で、さらにサービスの充実をはかる必要がある。		外部評価	
			A	

		令和4年度目標値	令和4年度実績	
指標項目	2	小学4～6年生の1か月間の読書冊数が1冊以下	8.3%	12.1%
今年度重点的に取り組む目標	読書や調べ学習を支援するために団体貸出件数の増加をめざします			
重点的に取り組んだ項目	②子どもたちの本を活用した学習活動や図書館見学または職場体験などの機会を通じて、生涯にわたる図書館利用の礎を築きます。		令和4年度達成状況	
成果	一般に流通していない児童向けの地域資料を収集したことで、学校からの貸出申し込みに応えることができました。団体貸出を利用する学校数も回数も減少しましたが、利用された冊数は増加しました。個人で借りた本の読書記録が残せる「けやきっ子読書カード」の内容を充実させ、カードを集める楽しみが読書の楽しみにつながるようにしました。合わせて、毎月第3日曜日の「けやきっ子読書の日」の啓発もおこないました。		C	
課題	多様化、細分化する学校からの資料要求に応えられるよう、学習の傾向をつかんだ選書をしておく必要があります。また、子どもが本に親しむ時をつくる工夫を、学校などと連携して進めることが大切です。			
委員意見	活字の図書を読まない子どもの割合を少しでも減らすため、図書館では学校・園に対して様々な取組をおこなったが、目標値を大幅に下回った点は残念な結果である。この結果は図書館の取組が不十分だったというだけでなく、最近の子どもを取り巻く環境の変化やコロナ禍の影響もあると考えられるが、幼少期から絵本を読んでもらうなど、就学前からの家庭の取組や保護者の読書習慣も子どもの読書に与える影響が大きいと言える。これまでとは違いかたちでの園や学校、家庭への働きかけも必要ではないか。		外部評価	
			C	

		令和4年度目標値	令和4年度実績
指標項目	3	26.3	39.2
今年度重点的に取り組む目標	貸出や読書につながる事業を、若者世代に届く方法で広報します		
重点的に取り組んだ項目	⑦YA世代に向けて、本や読書への興味・関心を喚起するような取組をおこないます。		令和4年度達成状況
成果	図書館の中学生向けイベントは、学校図書館をつうじてお知らせや展示グッズの配布もおこなったり、市立図書館の利用案内なども置いてもらったりして、市立図書館の存在を身近に感じてもらえるようにしました。		C
課題	今後は、事業の後で導入したツイッターなどのSNSも活用し、来館につなげることが必要です。		
委員意見	この世代が活字の図書を読まない割合が増えていることは、長浜市だけでなく全国的に共通した課題である。中学生向けのイベント実施などの取組をおこなったが、目標値を大幅に下回った点は残念な結果である。さらに学校と連携を深め、様々な事業に取り組んだり、広報媒体を効果的に利用したりなどして、YA世代へのサービスをもっと発信する必要がある。		外部評価
			C

		令和4年度目標値	令和4年度実績
指標項目	4	40,000	27,358
今年度重点的に取り組む目標	図書館や読書への興味・関心が喚起される事業を、同世代の若者と共に企画し実施します		
重点的に取り組んだ項目	⑦YA世代に向けて、本や読書への興味・関心を喚起するような取組を行います。		令和4年度達成状況
成果	近隣の大学と連携して、展示「本の湖」や募集「POP・本の帯コンクール」を実施しました。展示は、開催場所を若者が利用する駅の施設でもおこない、併せて図書館の利用についてもPRすることができました。		C
課題	実施事業が、若者の図書館利用につながる工夫が必要です。		
委員意見	この世代の本を読まない割合が高止まりし、貸出冊数が増えない状況は、長浜市だけでなく全国的な課題である。「POP・本の帯コンクール」等、YA世代に向けた図書館の取組は他の自治体と比較しても特筆すべきではあるが、その成果が貸出冊数増加につながらず、目標値を大幅に下回った点は残念な結果である。様々な取組が全体的な底上げとなっていない印象である。全国的に不読率が高い若者に対して、読書につながる効果的な方法は何かを考え、取り組む必要がある。		外部評価
			C

図書館基本計画実施プラン 評価シート

【目標4】まちの魅力を発信し、地域の文化的な拠点となる図書館

		令和4年度目標値	令和4年度実績
指標項目	1	デジタルアーカイブ資料数	10点
今年度重点的に取り組む目標	現システムで試行的にチラシやパンフレットなどの画像をデジタル化します。		
重点的に取り組んだ項目	③図書館が所蔵する地域の貴重資料のデジタルアーカイブ化を推進します。		令和4年度達成状況
成果	画像データの取込みを試行的におこなったものの、システムに課題がありネット上に反映させることができないことが判明しました。図書館ホームページでの公開も検討しましたが、候補資料の収集・選択にとどまりました。		D
課題	デジタル化できる専用ソフト・システムの導入を検討する必要があります。		
委員意見	システム関係者・業者に聞くなど、積極的に実現しようという姿勢は評価できるが、現状を踏まえた具体的な実践例が示せなかった点は残念である。新システムの導入に向け、デジタル化できる資料をまとめたりPDF化したり、準備を進めておく必要がある。		外部評価
			D

		令和4年度目標値	令和4年度実績
指標項目	2	博物館や資料館と連携した年間事業数	2回
今年度重点的に取り組む目標	博物館、資料館などと連携し、博物館などの企画行事と関連のある資料の展示を実施します。		
重点的に取り組んだ項目	⑤博物館や資料館の企画行事と関連付けた資料提供や展示をします。		令和4年度達成状況
成果	長浜城歴史博物館とのコラボにより6月～8月まで「H-1 グランプリ展」を長浜・浅井・びわ・高月館で実施しました。高月観音の里歴史民俗資料館から展示物を借受け「井上靖と湖北の観音さま展」を長浜・高月館で実施しました。ほかの施設と連携することで、地域に親しまれている歴史文化について伝えることができました。		B
課題	テーマの選定や資料収集に時間がかかるため、余裕のあるスケジュール管理が必要です。		
委員意見	連携ができた博物館、資料館とは企画事業や資料展示をすることができ、目標値を達成できた点は評価できる。今後は、これまで連携の実績がない市内の他の資料館等とも積極的につながり、長浜にゆかりのある展示を（小堀遠州展を五先賢の館と連携して開催するなど）もっと積極的に進める必要がある。		外部評価
			A

図書館基本計画実施プラン 評価シート

【目標5】市民とともにつくる図書館

		令和4年度目標値	令和4年度実績
指標項目	1	市民との協働事業の年間開催数	1 回
今年度重点的に取り組む目標	ボランティアや市民の自主的活動を支援し、継続・安定して活動できるようバックアップします。		
重点的に取り組んだ項目	②図書館を拠点として活動するボランティアが継続し安定して活動できるように支援します。		令和4年度達成状況
成果	長浜図書館ではボランティアルームを整備（備品整備、出欠表、装備修理用品の準備）し、安心して活動できる場所を確保し、他の館でも受け入れ態勢を整備し継続的な活動につなげることができました。職員の働きにより円滑な活動支援ができました。		B
課題	図書館の講座を受講後、活動する人たちへのフォローを継続的に続けることが必要です。		
委員意見	ボランティアルームの整備など、ボランティアが継続した活動を安定して実施できるよう、図書館からの支援ができたこと、さらに計画通り、ボランティアとの協働事業を実施することができた点は大きな成果である。		外部評価
			A

		令和4年度目標値	令和4年度実績
指標項目	2	登録ボランティア数	60 人
今年度重点的に取り組む目標	市民がボランティア活動を継続できるような仕組みづくりや職員体制を整備します。		
重点的に取り組んだ項目	①市民の協力を得て事業を開催したり、市民の主催事業を図書館が支援したりして、市民の図書館運営への参画を促進します。		令和4年度達成状況
成果	学級巡回文庫、蔵書点検など定期的な活動や配架、事務作業、持ち帰り作業など多様な内容で、市民のニーズに合ったかたちのボランティア参加を推進しました。きめ細やかなフォローにより前年度よりも登録者数が伸びました。		A
課題	多くの市民がそれぞれ多岐にわたるボランティア活動に取り組んでおり、職員が個別対応をしています。そのため一層のきめ細やかなフォローが必要となります。		
委員意見	市民のニーズにあった多様なプログラムを提示するとともに、ボランティア参加を推進するための図書館職員からのきめ細かなサポートにより、目標を上回るボランティア数の登録があった。		外部評価
			A

		令和4年度目標値	令和4年度実績
指標項目	3	3	3
今年度重点的に取り組む目標	市民の展示や活動発表の場の年間提供数		
重点的に取り組んだ項目	⑤個人や団体が、作品を展示したり活動を発表したりできる市民の交流の場を提供します。		令和4年度達成状況
成果	企画展示「地図から消えた村」では、パネル・写真を借り受けて展示を実施し、多くの市民に関心を持ってもらうことができました。長浜図書館でイラスト(YA本棚)や工作(りんごの棚)の展示をおこない、市民参加をバックアップできました。		B
課題	実施にあたっての要件やルールの整備が必要です。長浜館だけではなく、各館でも開催できないか検討します。		
委員意見	市民の自主的な展示企画でスタートした「地図から消えた村」の展示は、もともとは別会場である長浜えきまちテラスでの開催であったが、パネル・写真等を借り受けて、長浜図書館でも展示を実施し、より多くの市民に見てもらえたことは大変良かった。ほかにも、市民の持ち込み企画である、イラスト(YA本棚)や工作(りんごの棚)展示を長浜図書館で実施し、市民に計画通り活動・発表の場を提供することができた。今後は、場の提供を長浜館だけではなく、地域館にも拡大すること、市民の自主性を重視した図書館側のサポート、バックアップ体制がどうあるべきか、検討が必要である。		外部評価
			B

図書館基本計画実施プラン 評価シート

1.市民の身近に図書館サービスがある体制づくり

		令和4年度目標値	令和4年度実績
指標項目	I	サービスポイント数	3点
今年度重点的に取組む目標	サービスポイントについて検討します		
重点的に取り組んだ項目	①市内全域で同じサービスを受けられる仕組みを構築します。		令和4年度達成状況
成果	移動図書館についての調査をすすめ、先進地への視察3回（東近江市、彦根市、静岡県小山町）を実施しました。また軽四輪型移動図書館車の説明を業者から受けました。移動図書館車の実施内容、予算など多くの知見を得ることができました。		B
課題	長浜市にふさわしいサービスポイントの検討が必要です。		
委員意見	県内外で移動図書館サービスを実施している先進地への視察を予定通り実施し、長浜市で導入する場合の課題等、多くの知見を得ることができ、着実に準備が進められている。今後、長浜市のどこをサービスポイントとするかは重要な点である。移動図書館サービスを取り巻く社会状況の変化等を見据え、サービスポイントでは従来の貸出サービスだけでなく、他課や他機関と連携した取組を検討するなど、集客に効果的な方法を検討することが望まれる。		外部評価
			B

2.全体規模と各図書館の役割の見直し

		令和4年度目標値	令和4年度実績
指標項目	I	蔵書更新率	8.9%
今年度重点的に取組む目標	選別をすすめながら、分野ごとのバランスに配慮して補充などおこないます。		
重点的に取り組んだ項目	①全体の規模を明確にします。		令和4年度達成状況
成果	進捗を確認しながら資料の選別作業を全館ですすめ、約58,000冊を除籍しました。バランスの悪い分野や改訂された資料などを中心に約19,000冊受入しました。		A
課題	内容が古い分野の補充を、毎週の選書で積極的におこなう必要があります。選別作業を計画的に実施し、継続して魅力的な棚づくりをおこなう必要があります。		
委員意見	図書館全体の効果的な蔵書を構築するため、全館で計画的に除籍作業を進めるとともに、魅力的な棚づくりに取り組むことができた。蔵書が減少しても本の見せ方が重要である。かえって資料が探しやすくなるなどの利点もでてくる。市民が手をのばしたくなる魅力的な棚づくりを今後もすすめる必要がある。		外部評価
			A

3.質の高い図書館サービスの継続的な提供

		令和4年度目標値	令和4年度実績
指標項目	1	専門研修の年間受講者のべ人数	20 人
今年度重点的に取組む目標	専門研修で学んだことを、全体研修などで共有します。		
重点的に取り組んだ項目	①職員の資質向上を図ります。		令和4年度達成状況
成果	館内で、全職員を対象に著作権講習やレファレンス演習をおこない、レベルアップを図りました。また、事前課題にレポートを提出することで、個々で考えたり、日頃からアンテナを張り、自己研鑽する職場風土ができました。		A
課題	引き続き、専門知識の獲得とそれを業務に役立てる仕組みが必要です。		
委員意見	全職員に対して専門の研修を継続して実施できている。その成果がレファレンスの処理件数の増加など、日々のサービスに表れている。		外部評価
			A

		令和4年度目標値	令和4年度実績
指標項目	2	報道機関への年間情報提供数	45 件
今年度重点的に取組む目標	SNSの導入を検討し、幅広い層への情報発信をします。		
重点的に取り組んだ項目	③図書館の発信力を強化します。		令和4年度達成状況
成果	積極的に企画展示やイベントなど新しい取組を情報提供することで、記事やテレビに取り上げられ幅広い層に周知することができました。公式ツイッターを令和5年1月に導入し、即時性のある情報(30投稿)を提供することができました。		B
課題	定例行事だけでなく、多彩な分野のプレスリリースを目指し、取り上げてもらえるような魅力的なシートづくりをしていく必要があります。併せて図書館ホームページや公式ツイッターを活用し、即時性のある情報提供を続けていくことも必要です。		
委員意見	目標値に向けての努力とともに、公式ツイッターを始めたが、導入してから間もないこともあり、フォロワー数が少ないようである。広報担当職員がSNSの研修に参加しているとのことなので、学んだことをぜひ生かして、中高生向けのSNSの導入を検討するなど、引き続き発信の仕方を工夫する必要がある。		外部評価
			B